

# 篠養だより



「夢と希望を抱き 心豊かに たくましく生きる子の育成 ～ 明るく いきいきと ～」  
◇丹波篠山市立篠山養護学校 ◇丹波篠山市沢田120-1 ◇tel 552-5237 ◇fax 552-6222  
幼稚園0名 小学部21名 中学部12名 高等部18名 計51名 早期発達支援室3名 総計54名 No. 8

## 忘れてはいけないこと！ ～“コロナ禍”の教訓から～

コロナ禍、校長室の壁に貼り続けていたポスターがあります。それは、令和3年4月に丹波篠山市から配布された「コロナ禍を、共に乗り越えよう！」共同宣言ポスターです。

今年の大掃除の際に、「もういいか。」と思って外したのですが、改めて読み返してみると、何とも複雑な心境になりました。なぜなら、人として本来あるべき当然の姿が、多くの諸団体の共同宣言として記載されていたからです。

日常を取り戻した今なら、なぜ、こんな当たり前のことを宣言しなければならないのか、と疑問に思う人もいるかもしれません。でも、3年前は、この共同宣言が必要だったのだと思います。（裏面、「共同宣言ポスター」）

阪神淡路大震災のときもそうでしたが、人は非常事態に遭遇すると、冷静さを失い、弱さや醜さをさらけ出してしまいます。そして、他人を否定したり自己中心的になったり、モラルを見失ってしまいます。

きっと、今なら冷静に読めるこの共同宣言も、3年前は素直に受け入れられなかった人もいたかもしれません。

さて、この一年を振り返って、学校現場で一番大きかった出来事は、やはり新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことです。法的な規制が無くなったことで、コロナ禍前の様々な教育活動を再開することになり、保護者・地域・学校関係者の皆様にも多大なるご理解とご支援をいただきました。

お陰様で、学校行事をはじめ、PTAや地域行事なども、形式を変えながらではありましたが、ほぼコロナ禍前の状態に戻ってきています。

人類がウイルスに立ち向かうノウハウを身につけたことで、私たちは、少し先の社会まで見通しが持てるようになりました。本校でも、ようやく大きな混乱や不安なく教育活動を行えるようになってきています。でも、3年前、人として当然あるべき姿を、敢えて“オール丹波篠山”で宣言しなければならなかったコロナ禍の状況を振り返るとき、今の日常が、当たり前の日常ではなく、多くの人々の甚大な犠牲の上に成り立っているということ、私たちは、決して忘れてはいけないと思うのです。

そして、この先、万一非常事態に遭遇した際には、「共助」の心を失うことなく、人としてあるべき行いができるよう、日頃からの備え（準備）を大切にしたいと強く感じています。

震災やコロナ禍で得た多くの教訓を、必ずこれからの教育活動や学校運営に生かしていきます。



【3年前、無観客の中で自分の役を演じる子どもたち（ささよう発表会にて）】

# 「コロナ禍を、共に乗り越えよう！」共同宣言

～コロナ差別をなくし、あたたかいまち丹波篠山市に～



新型コロナウイルス感染症が拡大しています。このウイルスは、どれだけ気をつけていても誰もが感染してしまう可能性があります。感染された方が責められるべきではありません。恐れるべきは「ウイルス」であり決して「人」ではありません。

しかし、全国では、感染された方、医療従事者やその家族に対する誹謗中傷、差別や偏見があり、傷つき悲しい思いをされている方たちがいます。私たちはこうした事態を大変重く、受けとめています。

感染された方が、地域、学校、職場に戻ってこられたときは、「ただいま」「おかえり、大変だったね」と言い合える地域や職場、学校をつくりましょう。家庭、地域、学校、職場が思いやりと支えあいの気持ちを大切に、みんなでの状況を乗り越えましょう。

感染症拡大による消費の落ち込みで、飲食業をはじめ中小企業・小規模事業者、農林業者の皆さんへの影響は大きなものがあります。また、職を失われた方も大勢おられます。

私たちは、みんなが安心して健やかに暮らせるあたたかいまちづくり、そして活気ある丹波篠山市の経済復興と活性化に向け、共に取り組んでいきます。

- 1 感染された方や医療従事者、その家族等に対する心無い差別や偏見、誹謗中傷をしません。
- 2 「～らしい」という正確な情報や、事実であってもその人を傷つけるかもしれない「うわさ」は、他の人に伝えません。
- 3 医療従事者をはじめ、感染を拡げないよう努力している人びと、暮らしを支えているすべての方々に感謝し、応援します。
- 4 感染された方が戻ってこられたとき、「ただいま」「おかえり」と言いあえる、優しさと思いやりのある、あたたかいまちづくりをめざします。
- 5 「新しい生活様式」を実践しながら、安心して健やかに暮らせるまちづくりをすすめるとともに、丹波篠山市の経済復興と活性化に取り組めます。

令和3年4月21日



丹波篠山市・丹波篠山市教育委員会  
丹波篠山市議会  
丹波篠山市自治会長会  
社会福祉法人丹波篠山市社会福祉協議会  
丹波篠山市商工会  
丹波篠山市民生委員・児童委員協議会  
丹波篠山市消防団  
丹波篠山市青少年協議会  
丹波立杭篤福協賛協同組合  
丹波篠山市社会福祉法人連絡協議会

丹波篠山市医師会  
丹波篠山市歯科医師会  
丹波篠山市薬剤師会  
丹波篠山市人権・平和教育研究協議会  
丹波ささやま農業協同組合  
丹波篠山観光協会  
柏原人権擁護委員協議会篠山地区  
丹波篠山市PTA協議会  
丹波篠山市子ども会連絡協議会



「オール丹波篠山」で取り組めば、どんな非常事態をも乗り越えていけるということを実感しました。そして、思いました。非常時だけでなく、平時から「オール丹波篠山」で取り組めば、どんな難題でも解決できるのではと。